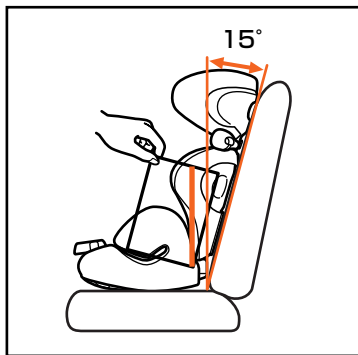


Combi

コンビ
ムーヴフィット
ジュニア

ジュニアシートを車の座席角度にあわせて、15度前後に傾けます。
図のように、本書をジュニアシートの背もたれにあわせませす。
赤いラインが垂直になったら、約15度の角度です。



角度チェッカー

ジュニアシートを車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてお使いください。

15度ラインを垂直にこの向き。

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン
<http://www.combibaby.com>

コンビ株式会社

製品にお預けの点がございましたら、コンシューマープラザ (Customer Service Center) までご連絡ください。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271 TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109
コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当
〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18 TEL. (06) 6536-0456 FAX. (06) 6536-4468

Combi

コンビジュニアシート ムーヴフィットジュニアEG ムーヴフィットジュニアS

汎用型 質量グループ2, 3

体重 15kgから36kg以下の幼児用

取扱説明書

品質保証書付



- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。
- 38ページの品質保証書の欄に必要な事項をご記入ください。
- 本書は、ジュニアシート座面裏に保管してください。(14ページ参照)

安全にお使いいただくために

このたびは、コンビジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

本書で示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただくためのものです。「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠️ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠️ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠️ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

⚠️ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がシートベルトをはずし、お子さまを車外に脱出させてください。

もくじ

はじめにお読みください

■安全にお使いいただくために	1
△緊急時の脱出	1
お使いいただけるお子さまの条件	3
取り付けできない座席	4
シートベルトの種類と使用上の注意点	5
△危険	7
△警告	8
△注意	10
■梱包品と組み立てかた	12
■各部のなまえ	14

■使いかた	15
1 ドリンクホルダーの取り付けかた	15
2 ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さ調節	17
3 肩ベルトガイドの幅調節	19

■ジュニアモード	20
お子さまを座らせる前の準備	21
お子さまの座らせかた	22
ジュニアモードの完了チェック	24

■ブースターモード	25
背もたれのはずしかた	26
お子さまを座らせる前の準備	27
お子さまの座らせかた	28
ブースターモードの完了チェック	30

■お手入れのしかた	31
-----------	----

■保管のしかた	36
---------	----

■廃棄のしかた	36
---------	----

■製品仕様	37
-------	----

■品質保証書	38
--------	----

■角度チェッカー	裏表紙
----------	-----

安全にお使いいただくために

お使いいただけるお子さまの条件

本製品は、お子さまの成長に合わせて2通りの使いかたができます。

ジュニアモード

体重条件：15kg以上～36kg以下

身長を目安：95cm～145cm程度

参考年齢：3才ころ～11才ころ

使用方法：車のシートベルトを背もたれの肩ベルトガイドと座面部の腰ベルトガイドに通して使用します。



ブースターモード

体重条件：22kg以上～36kg以下

身長を目安：115cm～145cm程度

参考年齢：6才ころ～11才ころ

使用方法：背もたれをはずし、座面部の腰ベルトガイドにシートベルトを通します。
また、肩ベルトをお子様の体に合わせるためにベルトポジションナーを使用します。



参考年齢および身長は、あくまでも目安です。年齢や身長が上記を満たしていても、体重を満たしていないお子さまは、そのモードでは使用しないでください。

取り付けできない座席



次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- シートベルトの取り付け幅が32cm未満の座席。



- パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは
…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車にみられます。(オートマチックシートベルト)



- エアバッグ装備の座席。
サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- 座面の中央が極端に盛り上がっていて、取り付けたときに不安定になる座席。



- 極端なバケットシート。

…座面の中央が極端にへこんでいる座席。



- 座面の奥行きが40cm未満の座席。



安全にお使いいただくために

はじめにお読みください

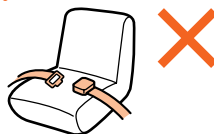
はじめにお読みください

取り付けできない座席

- シートベルトの付いていない座席。



- 2点式シートベルトの座席。



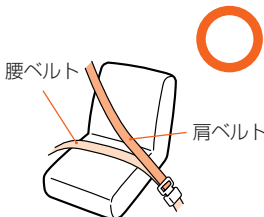
ジュニアシートは、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめいたします。

シート

本製品は、シートベルトの種類により使いかたが異なったり、使用できない場合があります。

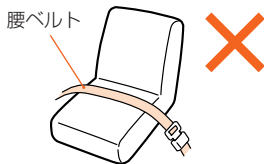
3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



2点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。(2点式シートベルトには取り付けられません)



ベルトの種類と使用上の注意点

危険 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

本装置はUN/ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された3点式リトラクター付き安全ベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

*日本国内で登録されている自動車はほぼ適合しております。車種適合につきましては下記アドレスにてご確認ください。

<http://www.combibaby.com>

シートベルトの種類 (シートベルトの方式)	特徴 (見分けかた)	取り付け上の 注意点	取り付け の可否
ELR 緊急ロック式 巻取装置付き	ゆっくりと引くとベルトが自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。	○
ALR/ELR チャイルドシート 固定機能付き	ベルトをすべて引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなる。(ベルトをすべて巻き戻すと解除される)	シートベルトをすべて引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能は解除して取り付けてください。	○
NR マニュアル式	巻き取り装置の付いていないシートベルト。	ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調節して取り付けてください。	○
NLR 非ロック式 巻取装置付き	ロック機能のない巻取装置付きシートベルト。		○
ALR 自動ロック式 巻取装置付き	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなる。	使用できません。	×

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります

- 使用条件に**合わない**お子さま・**座席**などでは**使用しない**でください。



- シートベルトや座席の条件などにより、**取扱説明書**どおりにしっかりと使用できないときは、他の座席に取り付けてください。



- お子さまがジュニアシートの上に**立ったり**、**中腰**になったり、**正座**をしないように注意してください。



- エアバッグ装備の座席では**使用しない**でください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- ご使用になる**ときには**、シートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。



- 車に取り付けるときは、必ず車のシートベルトで固定してください。ひもなど、シートベルト以外のもので固定しないでください。



⚠ 警告

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります

- お子さまを車内に1人で**放置**しないでください。日差しが強い日などには車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また**予期せぬ事故**の元となります。必ず保護者が同乗してください。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも**強い衝撃**を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても**絶対に使用しない**でください。



- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では**使用しない**でください。



- シートベルトをたるんだ状態で**使用しない**でください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。



- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまがしめつけられ、胸が**圧迫**されます。(6ページ参照)

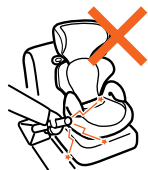


安全にお使いいただくために

⚠ 警告

次のような使いかたは、同乗している方やお子さまに、危険をまねくおそれがあります

- お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、助手席には取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



⚠ 注意

- 直射日光が当たると、本体やシートベルトの差込金具などが熱くなり、やけどをする恐れがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを乗せる前に各部にさわって、やけどをしないことを確認してから使用してください。
- ジュニアシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。
- ジュニアシートを改造しないでください。また、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



- 走行中は、ジュニアシートの操作や調整をしないでください。また、同乗している他のお子さまがジュニアシートを操作しないようにしてください。



- 背もたれのみでは、使用しないでください。



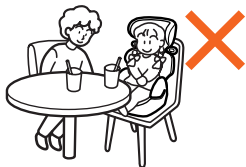
- 車の座席にクッションや座ぶとんなどを敷いたまま、取り付けしないでください。しっかり固定されません。



安全にお使いいただくために

⚠ 注意

- 通常の椅子として使用すると、転倒してけがの原因となります。本来の目的以外には使用しないでください。
- 固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たる可能性があります。



- 風雨にさらさないでください。



- 組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面部から背もたれがはずれることのないよう、しっかりと支えてください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材ははずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものを取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)



梱包品と組み立てかた

組み立て前に、下記の各部品がそろっていることを確認してください。

梱包品

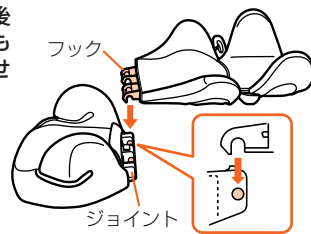
座面	1	取扱説明書(本書)	1
背もたれ	1		
ドリンクホルダー	1		

組み立てかた

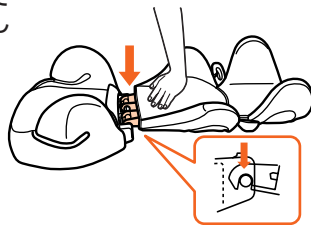
⚠ 危険

- 組み立てたときに、背もたれと座面の接合部に指などを挟まないように注意してください。
- 組み立てたジュニアシートを運ぶときは、座面から背もたれがはずれることのないようにしっかりと支えてください。

- 1 平らな場所で、座面後部のジョイントに背もたれのフックを合わせます。

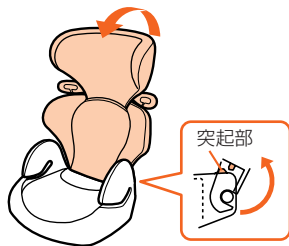


- 2 背もたれの下部を手で押さえ、フックを押し込みます。



梱包品と組み立てかた

- 3 背もたれを起こし、ジョイントの突起部を越えるまで背もたれを立てます。

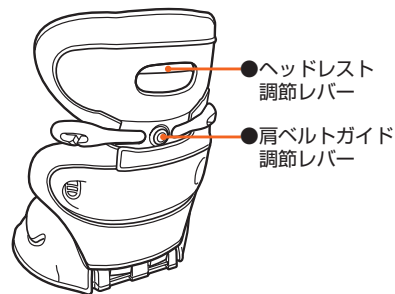
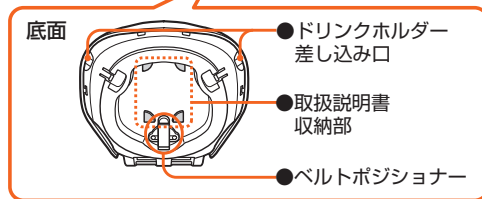
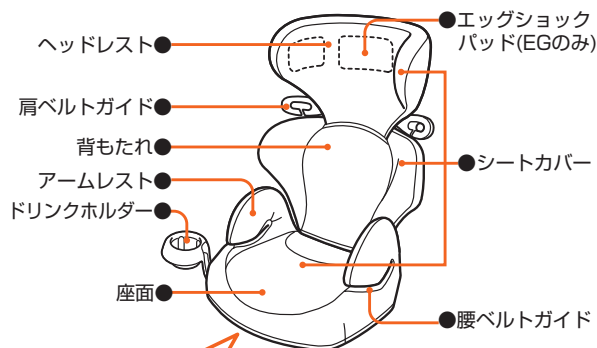


ワンポイント



ジョイントの突起を越えないと、背もたれは自立しません。

各部のなまえ



使いかた

1 ドリンクホルダーの取り付けかた

ドリンクホルダーは、座面の左右どちらでも、取り付けることができます。

警告

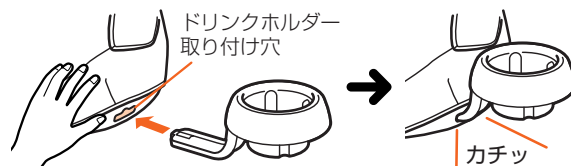
- ドリンクホルダーに熱い飲物を入れないでください。やけどをするおそれがあります
- ドリンクホルダーが車のドアなどにぶつかる場合は、反対側に付けなおしてください。
- シフトブレーキやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。
- お子さまがドリンクホルダーに体重をかけないようにご注意ください。破損するおそれがあります。

注意

ドリンクホルダーはすべてのドリンクサイズに適應できません。ドリンクホルダー内の飲物が安定していることを確認の上、ご使用ください。

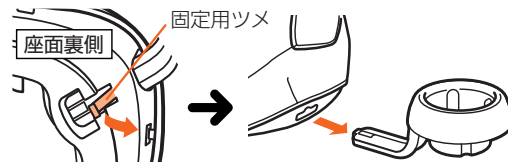
取り付けかた

- ① シートカバーをめくります。
- ② 座面の取り付け穴にドリンクホルダーをあわせ、
- ③ 『カチッ』と音がするまで、しっかり押し込み、
- ④ ドリンクホルダーをひっぱり、抜けないことを確認します。



はずしかた

座面裏側にあるドリンクホルダーの固定用ツメを引き上げたまま、ドリンクホルダーを引き抜きます。



使いかた

2 ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さ調節

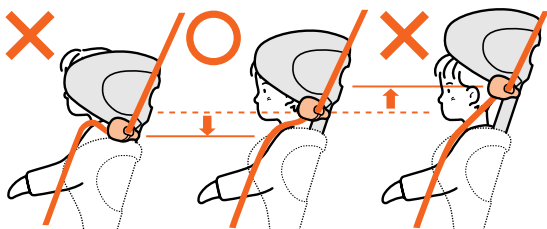
お子さまの体格にあわせて、背もたれの高さを調節し、肩ベルトガイドの高さを適切な高さにしてください。

警告

- 肩ベルトガイドは、車のシートベルト(肩ベルト)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドレストの高さを調節し直してください。
- お子さまの後頭部が、ヘッドレストの一番高い位置よりも上に出る場合は、背もたれを取りはずしてご使用ください。(26ページ参照) そのまま使用すると、事故などの衝突時に、大変危険です。

肩ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さの目安

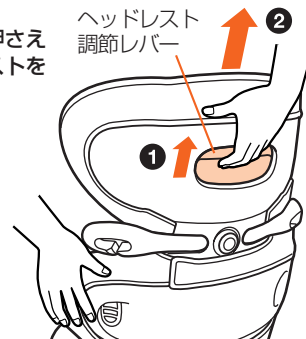
肩ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



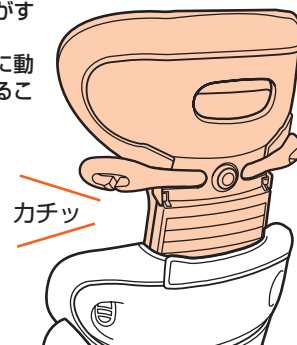
肩ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さ調節

肩ベルトガイドの高さは、7段階に調節できます。

- 1 ヘッドレスト調節レバーを引き、
- 2 片手で背もたれを押さえたまま、ヘッドレストを引き上げます。



- 2 1 適切な高さでレバーをはなし、『カチッ』と音がするのを確認します。
- 2 ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認します。



ワンポイント

- ☑ 下げるときも、同様の手順で行ってください。

注意

高さ調節をするときには、指をはさまないようにご注意ください。

3 肩ベルトガイドの幅調節

お子さまの体格にあわせて調節してください。肩ベルトガイドの幅調節は2段階です。

肩ベルトガイドの幅の目安

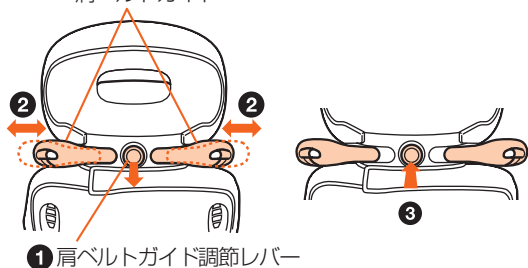
お子さまの首にベルトがかからないように、またお子さまの肩からベルトがはずれないように調節してください。



調節のしかた

- ① ヘッドレスト背面の肩ベルトガイド調節レバーを引き、
- ② 肩ベルトガイドを調節(内側・外側の2段階)し、
- ③ 調節レバーを戻して肩ベルトガイドが固定されていることを確認します。

肩ベルトガイド



ワンポイント

肩ベルトガイドは、左右両側を同時に調節することをおすすめします。

- 体重条件……………15kg以上～36kg以下
- 身長を目安……………95cm～145cm程度
- 参考年齢……………3才ころ～11才ころ

車のシートベルトをヘッドレストの肩ベルトガイドと座面の腰ベルトガイドに通して使用します。



△ 危険

- 必ず3点式シートベルトの座席で使用してください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- お子さまが座っていないときでも、必ずシートベルトを取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。

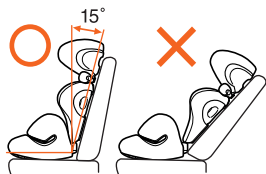
△ 警告

- **チャイルドシート固定機能付きシートベルト**の場合、固定機能を動かさないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、6ページをご覧ください)
- シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

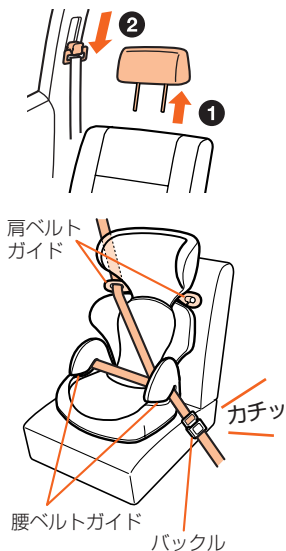
お子さまを座らせる前の準備

警告

- 車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体がシートベルトの下からすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあり危険です。
- 車の座席角度に合わせ、15°前後の傾きで使用してください。角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。



- 1 座席のヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、
 - 2 シートベルトの肩の高さが調節できる場合は下げておきます。
- 2 ジュニアシートを車の座席に置き、シートベルトを引き出して、図のように肩ベルトガイドと腰ベルトガイドに通し、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



警告

お子さまを座らせていないときは、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

お子さまを、座面に深く座らせてください。

警告

お子さまを図のように座らせると、ジュニアシートが本来の機能を果たさず、危険です。

- 極端に体を傾けて座っている。



- 中腰・正座・立てひざなどをする。



- のけぞる、前かがみになる。



注意

背もたれと座面の間に衣服をはさむおそれがあります。注意してください。

- 1 バックルをいったんはずし、お子さまを深く座らせて、シートベルトを引き出して図のようにバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



差し込み具 バックル

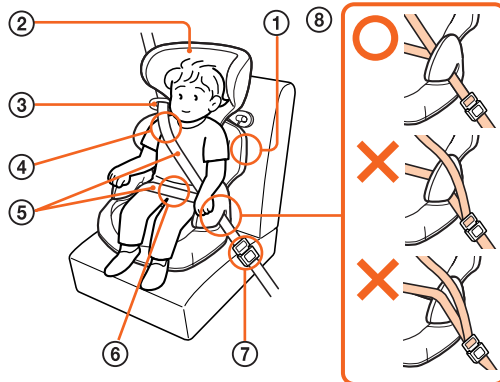
警告

- お父さまが1人で乗り降りすると、車の座席からずり落ちたりするおそれがあります。必ず、保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- お子さまの腕は、必ずシートベルトの上になるようにしてください。



ジュニアモードの完了チェック

お子さまを座らせ、シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。



- ① 車の座席とジュニアシートの上に大きなすき間がないこと。
- ② ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さが正しく調節されていること。
- ③ シートベルト(肩ベルト)が肩ベルトガイドを通っていること。
- ④ 肩ベルトがお子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ⑤ シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ⑥ シートベルト(腰ベルト)がお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑦ 差込金具が、バックルに差し込まれており、はずれないこと。
- ⑧ シートベルト(肩ベルト：腰ベルト)が腰ベルトガイドを通っていること。

警告

これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、21～23ページの手順の必要なステップを、もう一度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

ブースターモード

- 体重条件……22kg以上～36kg以下
- 身長目安……115cm～145cm程度
- 参考年齢……6才ころ～11才ころ

背もたれをはずし、座面部の腰ベルトガイドにシートベルトを通します。

また、肩ベルトをお子様の体に合わせるためにベルトポジショナーを使用します。。



危険

- 必ず3点式シートベルトの座席で使用してください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- お子さまが座っていないときでも、必ずシートベルトを取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。

警告

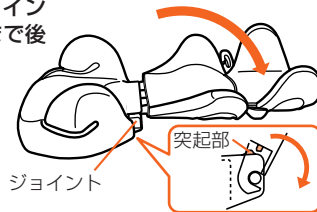
- ブースターモード時は必ずベルトポジショナーを使用してください。
- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を動かさないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(詳しくは、6ページをご覧ください)
- シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

背もたれをはずしかた

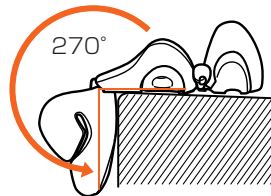
背もたれをはずすときは、座面と背もたれの間を270°まで倒せる場所で行ってください。



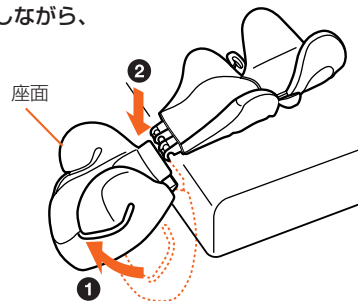
- 1 背もたれを、座面ジョイントの突起部を越えるまで後ろに倒します。



- 2 座面と背もたれの間を270°まで倒します。



- 3 ①座面を少し戻しながら、②はずします。



ブースターモード

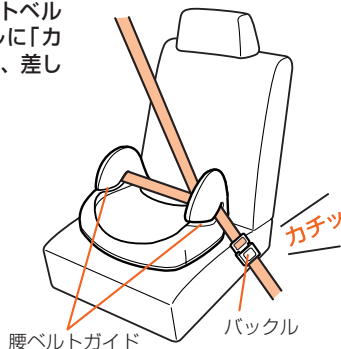
お子さまを座らせる前の準備

警告

車の座席がリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体がシートベルトの下からすり抜けたり、シートベルトが首にかかったりするおそれがあり危険です。



- 1 車の座席のヘッドレストをはずしている場合は取り付けます。
- 2 座面を車の座席に置き、腰ベルトガイドにシートベルトを通し、バックルに「カチッ」と音がするまで、差し込みます。

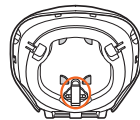


警告

お子さまを座らせていないときは、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

- 1 お子さまを本製品に乗せ、肩ベルトが通る長さにベルトポジションナーを調整します。
*ベルトポジションナーは座面底面に設置しております。



短くする場合



長くする場合



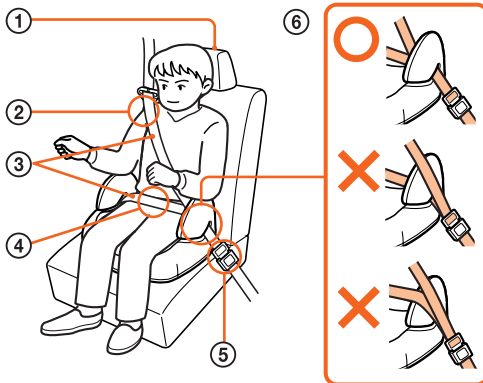
- 2 お子さまを本製品に深く座らせ、シートベルトを引き出して、図のようにバックルに「カチッ」と音がするまで、差し込みます。また出来るだけシートベルトの弛みを取り、ベルトにねじれがないようにします。



ブースターモード

ブースターモードの完了チェック

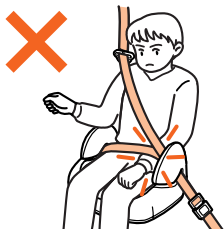
お子さまを座らせ、シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。



- ① 車の座席のヘッドレストが取り付けられていること。
- ② 肩ベルトがお子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③ シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ④ 腰ベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑤ 差し込み具が、バックルにしっかりと差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥ シートベルト(肩ベルト・腰ベルト)が腰ベルトガイドを通っていること。

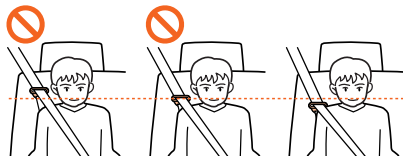
警告

お子さまの腕は、必ずシートベルトの上になるようにしてください。



3 ベルトポジションナーの正しい位置

ベルトポジションナーは図のように肩と同じ高さになるように調整し、車両シートベルトがお子さまのからだに合うようにしてください。



4 ベルトの通しかた



警告

これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、27～29ページの手順の必要なステップを、もう一度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

ブースターモード

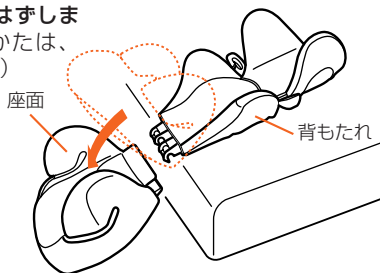
ブースターモード

お手入れのしかた

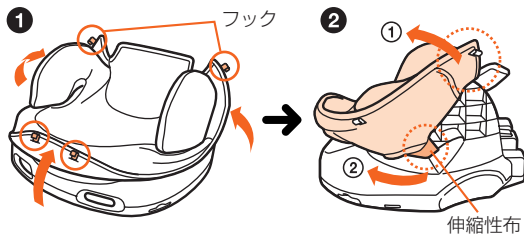
シートカバーのはずしかた

注意 シートカバーをはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものを取り替えたりしないでください。(安全性能に影響を与えるおそれがあります)

- 1** ジュニアシートの背もたれと座面をはずします。(はずしかたは、26ページ参照)



- 2** ① 座面のフック4カ所をはずし、
② アームレストは図の手順(①~②)ではずし、シートカバーを取りはずします。



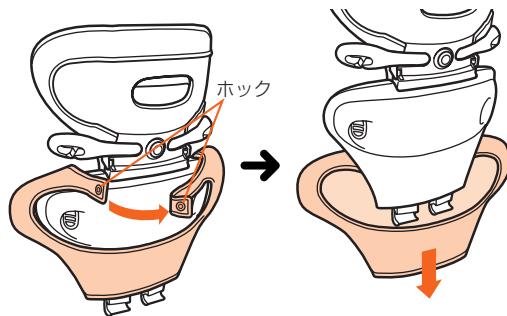
ワンポイント



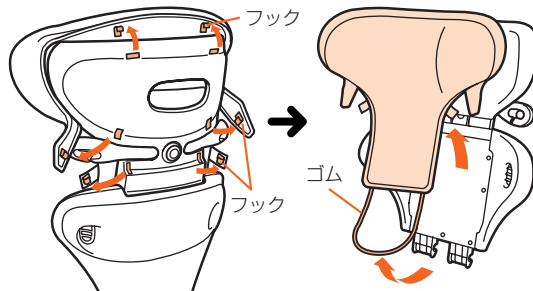
アームレストをはずすには

①のシートの端を半分ほどはずし、次に②の赤い伸縮性の布の部分をはずします。

- 3** 背もたれのフック1カ所をはずし、背もたれからシートカバーを引き抜きます。



- 4** ヘッドレスト背面のフック6カ所と、背もたれ下端に引っかけてあるゴムをはずし、シートカバーを取りはずします。



ワンポイント

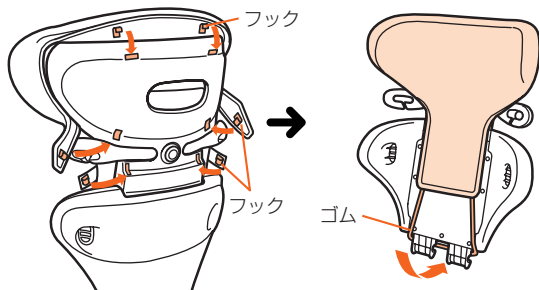


肩ベルトガイド下のフックがはずしにくいときは、ヘッドレストを高くすると、はずしやすくなります。

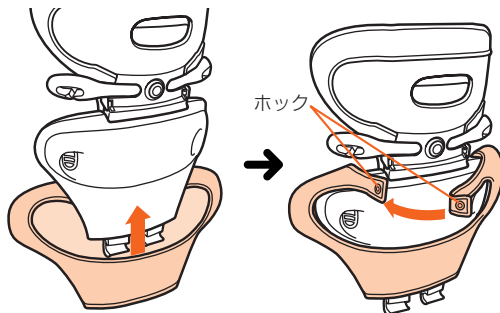
お手入れのしかた

シートカバーの取り付けかた

- 1 ヘッドレストに、シートカバーをかぶせ、ヘッドレスト背面のフック6カ所を取り付け、背もたれ下端にゴムを引っかけます。



- 2 前後の向きをあわせて、背もたれにシートカバーをかぶせ、ホック1カ所をとめます。



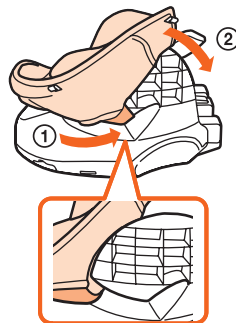
- 3 座面のシートカバーを取り付けます。

- ① アームレストにシートカバーをかぶせます。

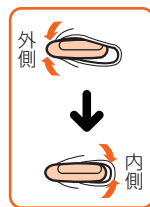
ワンポイント



図のようにアームレストの先端を、シートカバーの内側に十分入れてから、全体をかぶせます。



- ② EGタイプの場合は、通気口の周りを取り付けます。



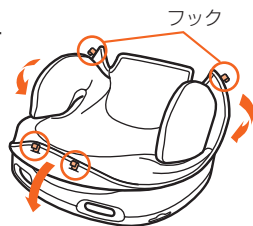
通気口

ワンポイント



通気口は、外側、内側の順に取り付けてください。

- ③ フック4カ所を取り付けます。



お手入れのしかた

シートカバーの洗いかた

シートクッションを洗濯するときには、次のことを守ってください。

 <p>手洗い 30</p>	液温は30℃を上限として手洗いしてください。	 <p>漂白剤は使用しないでください。</p>
 <p>アイロン掛けはしないでください。</p>	 <p>ドライクリーニングはしないでください。</p>	
 <p>手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。</p>	 <p>日陰で平干ししてください。</p>	

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

本体のお手入れのしかた

通常は、かたく絞った布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体を傷めるおそれがあり、危険です。

保管のしかた

本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

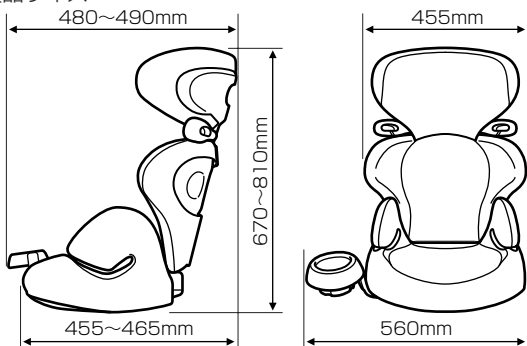
取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、座面の底面にはさみ込んで保管してください。

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規定にしたがい処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないように縫製品などをはずして、廃棄してください。

製品仕様(EG/S)

製品サイズ



製品質量：●本体…4.2kg(EG)

●本体…4.2kg(S)

材 質：●本体…ポリプロピレン

●ドリンクホルダー…ポリプロピレン

●シートカバー

表生地…ポリエステル、ポリウレタン(EGのみ)

クッション材…ウレタンフォーム、発泡材